

平成29年度 授業改善推進プラン 高学年

	平成28年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○良いところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○人物の心情の変化や情景描写の巧みさなど、物語の内容を読み取ることについてはおおむねできるようになってきている。 ○週に一度、漢字テストを実施するとともに必要に応じて放課後補習を行うことで、配当漢字を書いたり、読んだりすることはおおむねできている。 △指定された長さで文章を書くことに課題がある。 △文章や資料を正しく読み取り、指定された様式に直すことに課題がある。 △立場や意図を明確にして話し合うことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心人物の心情が、関わりの深い他の登場人物との関係の中で、どのように変化していったのか、また変化するきっかけとなった出来事は何かをおさえることで、物語の内容を読み取る力を一層高めていく。 △文章を書く場面では、「最低何行以上」や「何文字以内」などの条件を設定したり、文章構成の例を提示したりすることで、文章全体の見通しをもって取り組めるようにしていく。 △文章や資料から読み取ったことを、短くまとめる場面を計画的に設定する。 △話し合いの学習では、相手や目的に応じた話し方を指導するとともに、相手の意図をとらえて話を聞くことを指導することで、発言内容と目的や意図を関連付けて考えることができるようにする。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○提示された資料の中からの的確に資料を選び、必要な情報を引き出すことはおおむねできている。 ○生活環境を守る活動についての問題は、おおむねできている。 △複数の資料から引き出した情報を基に考えることに課題がある。 △地図帳の見方や、地図帳を活用することに課題がある。 △基礎的・基本的な内容の理解が十分でないものが少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図や表、グラフ、写真などそれぞれの非連続型テキストがもつ特徴を押さえ、どのような情報を伝えるのに適しているか、どのような情報を引き出すことができるか指導する時間を計画的に設定する。 ○実生活と関連付けて考える活動を取り入れたり、環境を守る活動の動画を見せたりすることで、身近なこととしてとらえられるようにする。 △自分が調べたい学習問題に対し、複数の資料から得た情報を基に多面的にとらえたり、組み合わせで言えることは何か考えたりする活動を計画的に設定する。 △地図帳の索引を使って地名や場所を調べたり、巻末の統計資料を活用したりする場面を計画的に設定する。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な計算処理ができている。 ○単位量あたりの大きさの問題で、面積と人数の割合を求めることができている。 △図形の性質を理解し、作図することに課題がある。 △活用能力が問われる問題の正答率が低い。数学的な思考力を伸ばしていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「確かめプリント」や「ドリルプリント」などを活用し、反復練習を行い、力を定着させる。 △これまで学習した図形を観察し、見直すことを通して図形に対する感覚を豊かにする。また、図形の特徴を見直しながら、性質をまとめていき、図形のポイントを指導していく。 △「グループ交流」「全体交流」など、自分の考えを互いに発表し合う場を設定し、立式の根拠を明らかにする力を育てる。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ○「月と星」「魚の誕生」についての問題の回答率は、目標値より高く、児童の興味・関心も高い。 △基礎の目標値に対して、半分以上の児童が達成していない。「天気の変化」「気温の測り方」「オオカマキリの成長の様子」「植物の花のつくりと実」「顕微鏡の使い方」「流れる水の運搬作用」の理解が特に十分とはいえない。全体的に基礎的な知識の定着が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実感を伴った理解ができるように意図的・計画的に実験・観察の場を設定していく。 △理科授業の基本的な学習過程を「自然現象に触れる(自然現象について考える)→問題把握→予想→実験・観察方法を考える→観察・実験→結果をまとめる→考察→結論→普段の生活へ生かす」とし解決すべき課題を正確に把握し、解決の仕方考えられるようにする。 △各単元の終末に既習事項を基に考察を書かせたり、学習内容に関連のある画像や動画を視聴したりすることで学習内容の定着を図る。
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ○全体のねらいを明示し、個別のめあてを学習カードに記入することで、児童が主体的に課題に取り組むことができた。 ○ボールや器械の操作の技能は、ペアやグループによる教え合いが一定の成果を上げている。 △互いに見合うことはできたが、自分で改善策を考えることには課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードを活用し、児童が主体的に運動に取り組み、さらに思考力が高まるようにする。 ○主運動につながる補助運動として、十分にボールや器械に慣れる時間を設定する。 △ペアやグループの組み方を工夫する。試技を撮影したものをみて改善策を考える指導法の工夫をしていく。
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習することができた。 △音の重なりや響きを感じながら、より一層表現を工夫して演奏できるようにすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題を明確にし教材の工夫をする事により、より一層、児童が自ら考えて主体的に行動し、達成感もてるようにする。 △合唱や合奏の経験を通して、重なり合う音の美しさを味わう表現活動を行う。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図 工</p>	<p>○表現活動に用いる材料や創作活動を行う場所に進んでかかわり、自分なりの表現活動ができる。</p> <p>△作品をよりよくしようと工夫を凝らしたり発想を広げたりする態度に課題が見られる児童がいる。</p> <p>△発想を具体化する技能が十分でない。</p> <p>○鑑賞活動における言語活動の時間を適宜取ることができたが、発想の意図を言葉で表現することが課題である。</p>	<p>○構想図等を用いて、全体像のイメージを持たせたり、よりよい表現を見つけさせたりする。</p> <p>△児童が興味をもつ題材を吟味し、自分が満足できる作品を目指すことにより達成感を味わわせる。</p> <p>△発想を具体的な形にするために、基礎的な技能を習得する時間を確保する。また、様々な表現技法を紹介し、活用できるように支援する。</p> <p>○題材のまとめとして作品を鑑賞してよさや美しさを感じ、表現の意図や関連性を話し合い、言語活動の充実を図るとともに、関連する語彙の習得を目指す。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家 庭</p>	<p>○学習で習得した知識や技能を家庭で実践する体制がだいぶ整ってきた。</p> <p>△実習活動は意欲的だが、基本的な生活習慣の未熟さ等から技能面を伸ばすことに課題がある。</p>	<p>○学習ステップを明示し、段階を追って習熟できるようにするとともに、くり返し学習することで基礎技能を身に付ける。また、これからも家庭での実践を行いながら、学習内容を定着させていく。</p> <p>△児童が自主的に取り組めるよう題材や資料等を工夫したり、実習活動を増やしたりする。楽しみながら技能を伸ばせるようにする。</p>